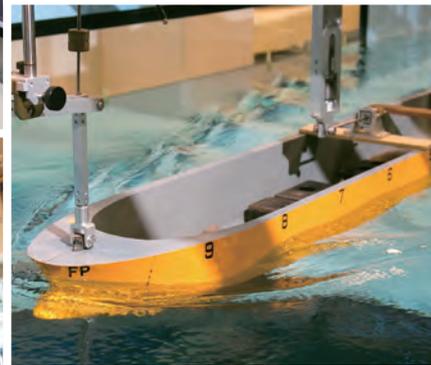
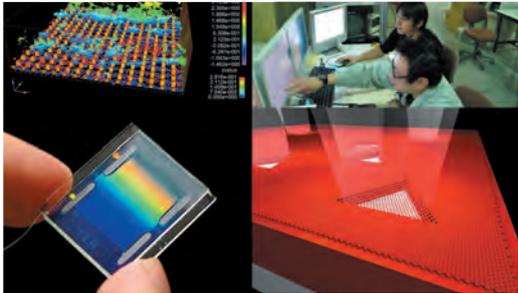
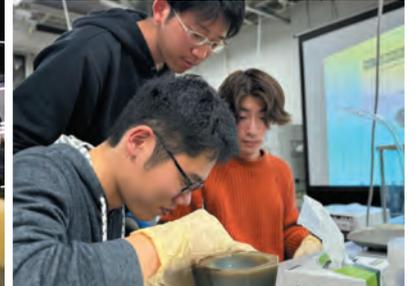
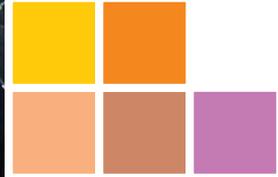


KYUSHU UNIVERSITY

SCHOOL OF ENGINEERING

- Department of Electrical Engineering and Computer Science ■
- Department of Materials ■
- Department of Applied Chemistry ■
- Department of Chemical Engineering ■
- Department of Interdisciplinary Engineering ■
- Department of Mechanical Engineering ■
- Department of Aeronautics and Astronautics ■
- Department of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering ■
- Department of Naval Architecture and Ocean Engineering ■
- Department of Earth Resources Engineering ■
- Department of Civil Engineering ■
- Department of Architecture ■



九州大学 工学部

2025 CAMPUS GUIDE





九州大学工学部で世界に羽ばたく専門力を培いませんか

九州大学大学院工学研究院長
大学院工学府長・工学部長

山本 元司

九州大学工学部は2021年(令和3年)に学科改組と入試制度改革を行いました。専門性に合わせて複数の学科を束ねて構成した5つの学科群(I~V群)に入学後の1年間の学びの後に専門を決定できるVI群を加え、従来の筆記試験により学科群ごとに選抜を行う一般選抜、および各学科が修学に必要な適性を学力だけでなく意欲や関心なども含めて総合的に判断して学科ごとに選抜を行う総合型選抜により入試を実施しています。また、学部で学士課程4年間に大学院修士課程2年間を加えた6年間の一貫した教育プログラムを新たに整備し、最先端の情報技術教育を取り込み、目覚ましいスピードで進展する技術分野の高度化や様々な変化に対応できる人材を育成する体制を整えています。さらに2年後には総合型選抜入試において、新たに学校推薦型や女子枠の導入を予定しており、多様な学生を受け入れる準備をしております。

九州大学では「総合知で社会変革を牽引する大学」を目指してVISION2030を策定し、教育、研究、社会貢献、国際協働などにおいて、さらなる飛躍に向けて教職員が努力しています。また、九州大学は2021年11月に文部科学省より「指定国立大学法人」として指定を受け、世界の大学と伍していくことが求められ、社会や経済の発展に貢献する取組の具体的成果を積極的に発信し、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されています。

さて、九州大学は1911年(明治44年)に九州帝国大学工科大学として福岡市東区箱崎の地に創立され、1919年(大正8年)に九州帝国大学工学部、1947年(昭和22年)に九州大学工学部となり現在に至っています。この間、西日本の拠点大学として先導的な教育と研究を担い、これまで多数の卒業生を輩出してきました。卒業生の多くは国内外で先導的、指導的な立場として活躍

されてきています。九州大学工学部は、今後も引き続き社会に貢献する人材、国際的な立場で活躍し世界を主導できる人材を、責任を持って輩出し続ける所存です。

九州大学工学部は、カリキュラムで示されている教育や研究室での先進的な研究活動を行っていることはもちろん、学生の自主的なものづくり活動のための創造工房への支援を行うとともに、北米と豪州への工学部独自の学生派遣・研修プログラム、英語授業のみでカリキュラムが構成されている学部国際コース、起業精神を育むアントレプレナーシップ教育プログラムなど、学生の自主的な学びを支援する多くのプログラムを備えています。さらに九州大学は、総合大学として様々な学問分野からなる教職員とそれらを学ぶ学生が学内外で多くの活動を実践しており、多様な学びと経験ができる可能性が豊富にあります。九州大学工学部に入学し、さらなる飛躍のチャンスを掴みましょう。

社会に貢献する人材、 国際的な立場で活躍できる人材を育てる学び舎

1911年(明治44年)に創立された九州帝国大学工科大学が、工学部の起源です。100年の歴史と伝統を有する工学部は、戦前、戦後を通して、鉄道・土木・通信などの交通通信分野や鉱山・製鉄・造船・航空・機械製作・化学・繊維などの日本の礎となる基盤産業に多数の人材を輩出し、日本の発展を支えてきました。

1911年の発足以降、工学部は長きに渡って箱崎キャンパス(福岡市東区)に教育研究施設を置いてきましたが、大学のキャンパス移転構想の第一陣として2005年(平成17年)10月から伊都キャンパス(福岡市西区)へ移転を開始し、2007年(平成19年)3月には建築学科を除く5つの学科が移転を完了しました。また、建築学科も2018年9月には、移転を完了しました。

自然豊かな広大な敷地の中に世界的にも最先端の施設や設備を有する伊都キャンパスは、工学部のこれから100年先につながる新たな歴史を刻む学び舎として皆さんを迎えてくれます。



▲1914年(大正3年)九州帝国大学工科大学正面



九州帝国大学工学部銘板

1919年(大正8年)前身である工科大学が工学部と改称された際に製作されたと考えられる銘板。戦時中、多くの金属製銘板が戦時供出された中、現存する貴重な銘板。2017年10月、工学部同窓会の基金により本銘板のレプリカのモニュメント(記念碑)を伊都キャンパスウエスト4号館横に建立。

CONTENTS

School of Engineering, Kyushu University
2025 CAMPUS GUIDE

工学部2024年度研究成果ハイライト	03
工学部構成・定員と入学から卒業・終了までの流れ	05
電気情報工学科	07
材料工学科	08
応用化学科	09
化学工学科	10
融合基礎工学科	11
機械工学科	12
航空宇宙工学科	13
量子物理工学科	14
船舶海洋工学科	15
地球資源システム工学科	16
土木工学科	17
建築学科	18
VI群紹介	19
大学院のススメ・就学支援	20
受験生のみなさんへ Welcome Message	21
OB・OGメッセージ	22
留学プログラム	23
サークル紹介	24
伊都キャンパス周辺	25
入試情報	26

研究成果ピックアップ

PICKUP

令和6年度科学技術分野の 文部科学大臣表彰「科学技術賞」及び 「若手科学者賞」受賞

科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする標記の賞を受賞しました。

科学技術賞（研究部門）を受賞



電子線ホログラフィーの高感度化と材料機能発現機構の研究
工学研究院 エネルギー量子工学部門
村上 恭和 主幹教授

若手科学者賞を受賞



電子顕微鏡による表面ナノ構造評価の研究
工学研究院 エネルギー量子工学部門
麻生 亮太郎 准教授

PICKUP

非局在、非同期、閉ループによる 有機レーザー発光分子の発見

次世代有機光エレクトロニクスの新展開へ

九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター（OPERA）では、新材料開発からデバイスの創製まで、有機半導体レーザーに関する先駆的な研究開発に取り組んで参りました。現在、先端光機能分子の探索には、分子設計・合成と物性・デバイス特性評価の両面を統合した複雑なワークフローが必要となっています。今回、米・加・英・日の5つのラボ（トロント大学、バンクーバー大学、イリノイ大学、グラスゴー大学、九州大学）が材料探索を加速するために協力し、トロント大学で開発された“自動運転ラボ”を使用して2ヶ月間の短期間で1,000個以上の分子を合成・評価し、21個の新しい高性能有機固体レーザー（Organic Solid-State Laser: OSL）材料を発見しました。

工学研究院 応用化学部門
最先端有機光エレクトロニクス研究センター（併任）
安達 千波矢 主幹教授



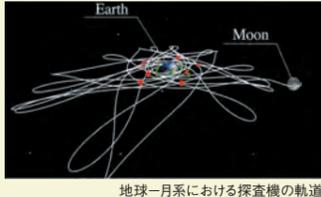
PICKUP

カオス軌道を用いた地球-月系における 探査機の軌道設計に成功

～月周回有人拠点への貨物輸送や惑星探査機の軌道設計への応用に期待～

北海道大学電子科学研究所の佐藤謙准教授と九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門の坂東麻衣教授、同工学大学院航空宇宙工学専攻博士後期課程3年の平岩尚樹氏、リオデジャネイロ連邦大学数学研究所のイザイア ニゾリ博士の研究グループは、短いカオス軌道をいくつも連結して地球から月へ向かう探査機の軌道を設計することに成功しました。

研究グループは力学系におけるローブの動力学に注目し、いくつかのローブ系列の間をジャンプして目的地へ到達する制御法を考案しました。最適化の結果、地球-月円制限三体問題のモデルであるヒル方程式系で地球周回軌道から月周回軌道へ向かう探査機に対して、従来の結果を上回る高効率かつ頑健な軌道を設計できました。本研究成果は、月周回有人拠点への貨物運搬や惑星探査機の軌道設計への応用が期待されます。

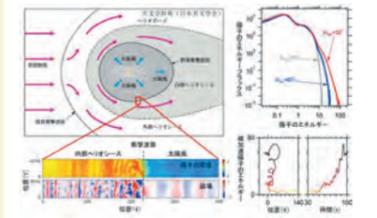


PICKUP

太陽圏の果てで宇宙線は どのように作られるのか

スーパーコンピュータ「富岳」による世界最高精度の 計算で再現

九州大学大学院総合理工学研究院の松清修一教授と千葉大学国際高等研究基幹の松本洋介准教授は、太陽圏の外縁で生成されることが知られている宇宙線異常成分の加速過程を調査しました。太陽圏とは、宇宙空間において太陽を起源とするプラズマが占める領域のことで、最低でも数百億キロメートル以上にわたって広がっているとされています。過去に唯一、太陽圏外縁の直接探査に成功したボイジャー探査機はたしかに宇宙線異常成分を観測したものの、その生成率が探査当時の理論的予測と明らかに異なるなど、宇宙線生成機構の謎は深まってきました。研究グループが目にしたのは外縁領域に存在する衝撃波での粒子加速で、加速のトリガーとなる初期の加速機構がどのように発現するのかという点です。スーパーコンピュータ「富岳」を使って宇宙プラズマ衝撃波の大規模かつ高精度な第一原理計算を行い、宇宙線異常成分の種になる陽子の初期加速過程を世界で初めて解き明かしました。



PICKUP

AIの思考を解き明かす！

～ニューラルネットワークの隠れたパターンを解明～

これまで、研究者たちはディープニューラルネットワーク（人間の脳のように情報を学習し、認識するために多層の計算構造を持つ人工知能の仕組み）がデータをどのように整理しているかを、t-SNEやUMAPのようなツールを使って視覚化していました。しかしこれらのツールは重要な詳細を歪めることがあり、特定のデータグループがどのように扱われているかを把握することが困難でした。

九州大学大学院システム情報科学研究院のヴァスコソセロス ヴァルガス ダニロ准教授らの研究グループは、ニューラルネットワークの隠れた層の中でデータがどのように整理されているかをより明確に見ることができる新しい方法「k*分布」を提案しました。k*分布という新しい方法を使用することで、研究者はこれらのパターンを正確に視覚化し、分析することができました。この方法により、以前のツールよりもデータの構造をしっかりと保持し、異なるグループを簡単に比較できるようになりました。

この研究は、AIの「思考」を理解するための革新的な手段を提供します。さらにAIの改善だけでなく、画像の処理方法に応用することで、より優れた診断ツールの開発につながる可能性もあり、将来の研究や実世界での応用に役立つことができると期待しています。



PICKUP

工学研究院のキーリーアレクサンダー竜太准教授が MIT Technology Review主催の 「Innovators Under 35 in Japan 2024」を受賞

工学研究院環境社会部門（土木工学科）のキーリー アレクサンダー竜太准教授が、「MIT Technology Review Innovators Under 35 Japan 2024」を受賞しました。本賞は、マサチューセッツ工科大学（MIT）のメディア部門「MITテクノロジーレビュー」が主催する国際的なアワードであり、世界的な課題解決に取り組む35歳未満の若手イノベーターを表彰するものです。過去にはGoogle共同創業者のセルゲイ・ブリン氏やMeta（旧Facebook）共同創業者のマーク・ザッカーバーグ氏などが受賞しており、国際的に権威のある賞として広く認知されています。

キーリー准教授は、環境・社会課題の可視化と解決に向けた先駆的な研究を展開し、企業のESG（環境・社会・ガバナンス）活動の可視化ツールの開発・実装を進めてきました。さらに、トップジャーナルへの論文掲載や、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）における3本の論文の引用など、学術的な貢献も高く評価されています。こうした実績が、持続可能な社会の実現に資する革新的な取り組みとして認められ、今回の受賞につながりました。



工学研究院 環境社会部門
キーリーアレクサンダー竜太
准教授

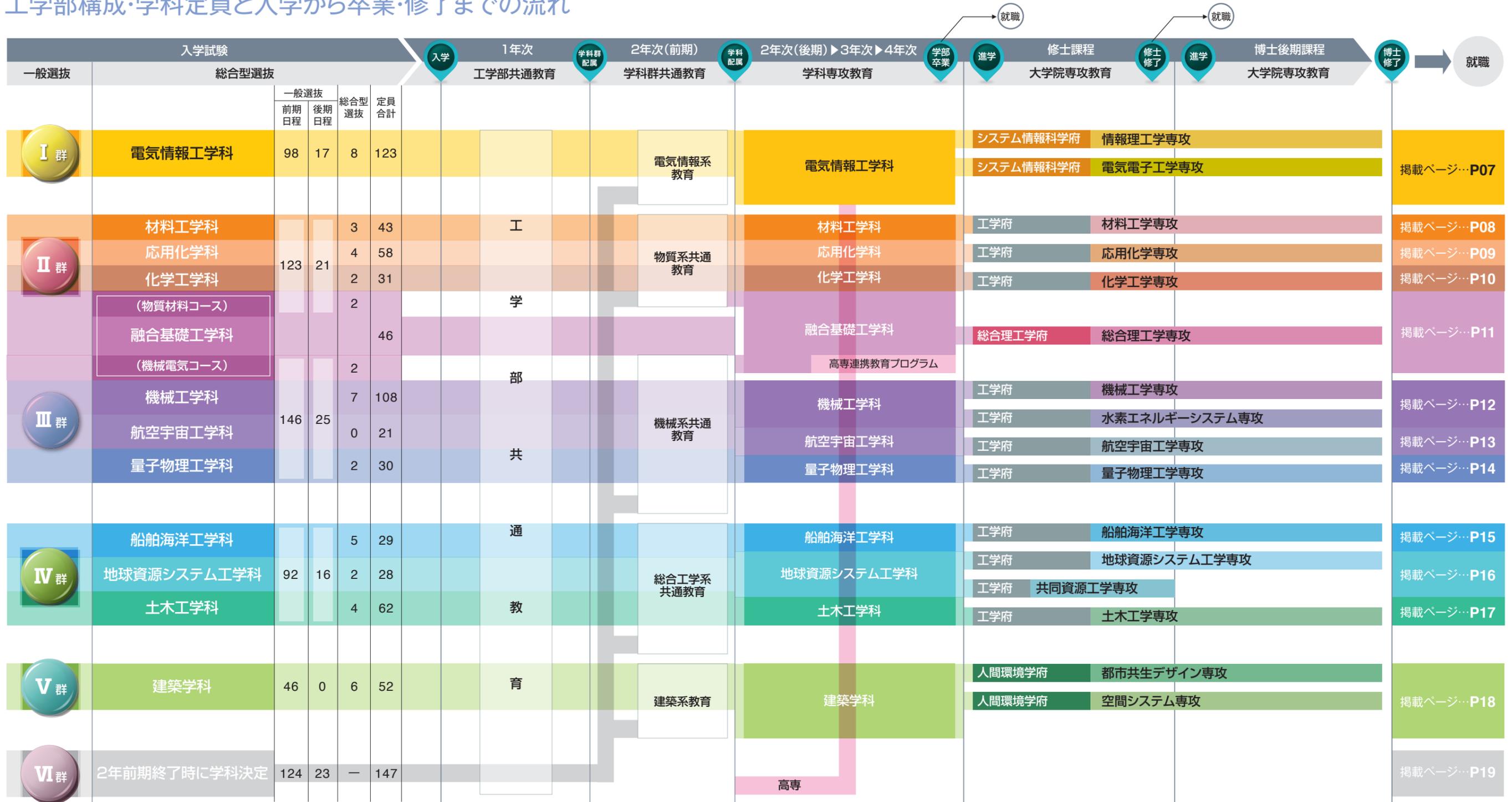
研究成果一覧

所属	部門	氏名	職位	研究成果の内容
工学研究院	エネルギー量子工学部門	村上 恭和	主幹教授	令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞（研究部門）」を受賞 「電子線ホログラフィーの高感度化と材料機能発現機構の研究」
工学研究院	エネルギー量子工学部門	麻生 亮太郎	准教授	令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「若手科学者賞」を受賞 「電子顕微鏡による表面ナノ構造評価の研究」
システム情報科学研究院	I&E ビジヨナリー特別部門	ボカレル ラメシユ	教授	無線電力伝送システムの性能をAIで全面的に予測 ～伝送距離、周波数、効率を考慮し、AIによる設計自動化の実現～
工学研究院	応用化学部門	安達 千波矢	主幹教授	非局在、非同期、閉ループによる有機レーザー発光分子の発見 次世代有機光エレクトロニクスの新展開へ
高等研究院		安田 琢磨	教授	高等研究院・安田琢磨教授が第5回ジャパンリサーチフロンティアアワードを受賞
工学研究院	航空宇宙工学部門	坂東 麻衣	教授	カオス軌道を用いた地球-月系における探査機の軌道設計に成功 ～月周回有人拠点への貨物輸送や惑星探査機の軌道設計への応用に期待～
システム情報科学研究院	情報エレクトロニクス部門	金谷 晴一	教授	金谷 晴一 教授が田中貴金属記念財団2023年度「貴金属に関わる研究助成金」Umekichi Tanaka Awardを受賞
工学研究院	応用化学部門	小江 誠司	主幹教授	小江 誠司 教授が田中貴金属記念財団2023年度「貴金属に関わる研究助成金」Gold Awardを受賞
工学研究院	エネルギー量子工学部門	村上 恭和	主幹教授	日立の原子分解能ホログラフィー電子顕微鏡を用いて世界初となる格子面それぞれの磁場観測に成功 ～カーボンニュートラル社会を実現するための高機能材料や省エネデバイス実用化への道を拓く～
工学研究院	環境社会部門	林 博徳	准教授	江戸時代の土木遺構「廻水路」、今では希少魚の重要な生息環境に！ ～過去の水をめぐめる新しい解決策は、今日の生物多様性保全へ向けた持続可能な解決策となった～
工学研究院	応用化学部門	安達 千波矢	主幹教授	高性能有機 EL デバイスの開発に成功 ～発光分子の性能を最大限に引き出す有機薄膜の総合設計
システム情報科学研究院	電気システム工学部門	中村 大輔	准教授	EUV 光源を高効率化するためのマルチレーザー照射法 ～先端半導体向けリソグラフィ用 EUV 光源の駆動レーザー負荷低減へ～
総合理工学研究院	環境理工学部門	松清 修一	教授	太陽圏の果てで宇宙線はどのように作られるのか ～スーパーコンピュータ「富岳」による世界最高精度の計算で再現～
工学研究院	応用化学部門	藤ヶ谷 剛彦	教授	慢性腎不全の原因物質を効率的に体内から除去する吸着材を発見 ～慢性腎不全治療の負担軽減に期待～
工学研究院	応用化学部門	加藤 幸一郎	准教授	2つの教師なし機械学習の連携によるアニオン交換膜の材料マップの作成 ～研究者による新規材料の設計を効率化し、広範囲な材料の開発加速へ貢献～
工学研究院	機械工学部門	佐久間 臣耶	准教授	極めて短い時間スケールに、マイクロ渦を作り込む技術の構築に成功！ ～10,000分の1の流れの渦を設計する、マイクロ流体工学の「新たな領域」を拓く
総合理工学研究院	物質科学部門	波多 聡	教授	鉄系超伝導体(Ba,K)Fe2As2における粒界特性の特異性を発見 ～多結晶でも高性能な高温超伝導体の創製に道～
工学研究院	応用化学部門	楊井 伸浩	准教授	分子量子ビットの量子重ね合わせ状態が化学物質に依存 ～ケミカル量子センシングの実現への重要な一歩～
工学研究院	応用化学部門	安達 千波矢	主幹教授	室温程度の環境熱を活用した新機構有機熱電デバイスの開発に成功 ～有機光エレクトロニクスが切り拓くクリーンエネルギー発電～
工学研究院	航空宇宙工学部門	津守 不二夫	教授	生物が加工する透明ガラス構造 ～植物根や菌糸によるガラス内への3次元微細複雑構造の生成～
工学研究院	応用化学部門	楊井 伸浩	准教授	有機フォトンアップコンバージョン「粒子」による神経細胞の光操作に成功 ～光による生体内での神経活動制御に向けた重要な一歩～
システム情報科学研究院	I&E ビジヨナリー特別部門	木山 治樹	准教授	半導体量子ビットの高精度読み出し法を開発 ～大規模半導体量子コンピュータの読み出し法の確立へ向けて～
工学研究院	応用化学部門	君塚 信夫	主幹教授	キラリな分子集合体が一重項励起子分裂を促進することを世界ではじめて発見 ～太陽電池・光触媒の性能向上や量子スピントリクス材料開発に向けた新しい分子設計指針を開拓～
工学研究院	機械工学部門	戸田 裕之	主幹教授	マルチスケールマルチディメンションマルチモーダルイメージング ～新しい統合材料解析技術の開発と先進自動車用鋼板への適用～
工学研究院	エネルギー量子工学部門	村上 恭和	主幹教授	熱伝導度の低減による熱電特性向上のメカニズムを原子スケールで解明 ～廃熱活用で環境問題とエネルギー問題に挑む～
総合理工学研究院	材料デバイス先端解析部門	辻 雄太	准教授	油と水の相互作用で人工嗅覚センサの「堅牢性」を高める！ ～疎水性分子骨格と親水性固体表面の間に働くファンデルワールス力が鍵～
工学研究院	環境社会部門	林 博徳	准教授	工学研究院林博徳准教授らの取り組みが工学教育賞文部科学大臣賞を受賞しました。
工学研究院	環境社会部門	林 博徳	准教授	工学研究院林博徳准教授らの取り組み研究がNational Geographic Society（ナショナルジオグラフィック協会）の国際公募研究に採択されました。
工学研究院	応用化学部門	安達 千波矢	主幹教授	工学研究院の安達千波矢主幹教授・馬奈木俊介主幹教授が「Highly Cited Researchers 2024」に選出！
工学研究院	エネルギー量子工学部門	河江 達也	准教授	パーコレーション理論を新規量子磁性体で初実証 「新しい」静的短距離磁気秩序を発見 ～次世代磁気デバイスへの活用に期待～
システム情報科学研究院	情報エレクトロニクス部門	矢嶋 昶彬	准教授	「違い」に高効率な情報処理技術を開発 ～生体神経組織の動作を模倣した低消費電力なトランジスタの動作実証に成功～
工学研究院	環境社会部門	林 博徳	准教授	流域システム工学研究室（林博徳准教授）の取り組みが応用生態工学学会社会実践賞を受賞しました。
システム情報科学研究院	情報学部門	VASCONCELLOS VARGAS DANILLO	准教授	AIの思考を解き明かす！ ～ニューラルネットワークの隠れたパターンを解明～
工学研究院	エネルギー量子工学部門	村上 恭和	主幹教授	アンモニアを温和な条件で合成する高活性な新触媒を開発 ～炭素フリー（CO ₂ フリー）と触媒を理想的な状態で内包・安定化～
工学研究院	応用化学部門	君塚 信夫	主幹教授	チオフェン環環ナノベルトの合成に成功 ～光電子デバイスや極性材料などの応用に期待～
工学研究院	環境社会部門	キーリーアレクサンダー竜太	准教授	工学研究院のキーリーアレクサンダー竜太准教授がMIT Technology Review主催の「Innovators Under 35 in Japan 2024」を受賞
システム情報科学研究院	情報知能工学部門	谷本 輝夫	准教授	メモリとプロセッサを分離した新たな量子コンピュータのアーキテクチャを提案 ～移植性の優れた高メモリ効率な設計で実用的な量子計算への道を切り拓く～
工学研究院	応用化学部門	森 健	准教授	ポリエチレングリコールに対する抗体産生のメカニズムを解明 ～抗体を産生させないポリマーの設計指針を得ることに成功～
工学研究院	化学工学部門	井上 元	教授	次世代電池の内部挙動シミュレーターの開発に成功 ～体積膨張が激しい高容量電池の長寿命化・早期実用化に貢献～
工学研究院	機械工学部門	木村 康裕	准教授	未来を紡ぐ！'糸'研究最前線
工学研究院	応用化学部門	安達 千波矢	主幹教授	工学研究院の安達千波矢教授がThe Society for Information Display (SID) 学会「The Jan Rajchman Prize」を受賞

詳細は九州大学工学部Webサイト→NEWS→「研究成果」で確認できます ⇨



工学部構成・学科定員と入学から卒業・修了までの流れ



令和8(2026)年度の入学者選抜方法

総合型選抜

書類審査、大学入学共通テストと面接(実技)等
志望の動機や高校時代の活動および基礎学力を総合的に評価して選抜します。総合型選抜は学科ごとに行います。

一般選抜(前期・後期)

大学入学共通テストと個別学力検査

学科群(I~V群)ごとの選抜

I~V群

専門教育が必要とされる基礎科目が共通である学科を束ねた群ごとに募集・選抜します。群を構成する学科への配属は、2年前期終了時に行います。

VI群

入学時には学科群が未定の学部一括として募集・選抜します。1年終了時に学科群(I~V群)に配属し、2年前期終了時に学科を決定します。

令和9(2027)年度以降の入学者選抜方法の変更に関する情報は、
九州大学Webサイトで随時お知らせいたします。今後の公表内容を必ず確認するようにしてください。

九州大学Webサイト

入試・入学

お知らせ





実空間とVR空間を組み合わせた共同作業支援の研究

I 群 電気情報工学科

Department of Electrical Engineering and Computer Science



▲ Webサイト ▲ 動画

論理と物理を基に、賢さ、快適さ、速さ、強さ、安全安心を創る技術者と研究者の入口

この学科のポイント！

私たちは、現在、人工知能と人間が共創する新たなデジタル社会の創出に向かって突き進んでいます。未来の社会では、人工知能、メタバース、ロボティクス、量子コンピューティング、スマートモビリティなどの魅力的な技術が融合した新たな生活様式を提供していることでしょう。電気情報工学科では、これらの技術の基礎となる、計算機、通信ネットワーク、電子材料・デバイス、電気エネルギーについて学びます。電気情報工学科では、数学、物理、データサイエンスの基礎を修得した後、計算機工学、電子通信工学、電気電子工学の3コースに分かれてそれぞれの専門性を深めていきます。皆さんも電気情報工学科で学び、未来への扉を開いてみませんか。



未来の動きを可視化してロボットと安全に共生



クリーンルームでの次世代半導体技術の研究

私の研究内容 実世界情報ロボティクス研究室

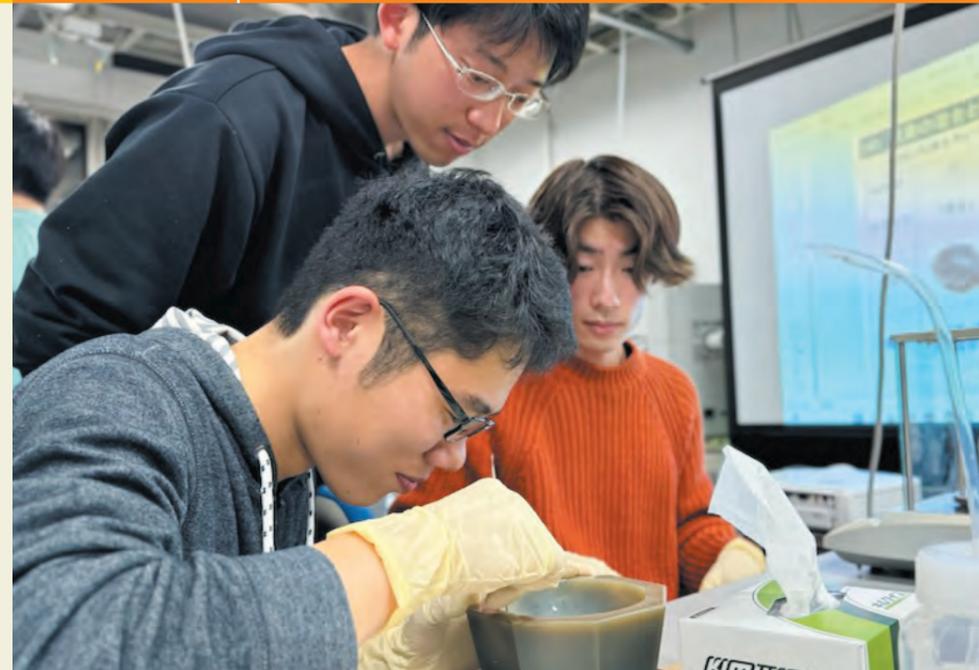
システム情報科学府
情報理工学専攻・修士1年
福岡県小倉高等学校出身
秋成 光太さん



建設機械による土木工事の自動化のためのサイバーフィジカルシステムの研究を行っています。サイバー空間で土工現場に設置した様々なセンサで地形の情報や建設機械の位置などの情報を取得して、実際の現場をサイバー空間内に再現。そこにVRゴーグルで没入して、実際の現場に立ち入ることなく現場の様子を把握できます。本研究により建設業界における労働力不足の問題と労働災害の減少に貢献できると考えています。将来は人手不足が深刻な分野や危険を伴う分野においてもICT化を進め、人手不足の解消や労働災害の発生防止に貢献していきたいです。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
情報通信機械器具、電子部品・デバイス・電子回路製造業 東京エレクトロン タカヤ Japan Advanced Semiconductor Manufacturing	情報通信機械器具、電子部品・デバイス・電子回路製造業 日立製作所 ソニーLSIデザイン NEC 東京エレクトロン 情報通信業 KDDI総合研究所 富士通研究所 とめ研究所 楽天グループ キャンムディカルシステムズ コピー
建設業 鹿島建設	建設業 三菱日立パワーシステムズ
輸送用機械器具製造業 トヨタ自動車 日産自動車 ポッシュ 本田技研工業 不二輸送機工業	輸送用機械器具製造業 モリタホールディングス
電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 関西電力	電気・情報通信機械器具 リコー シャープ
サービス業 アクセンチュア サイバーエージェント ベネッセコーポレーション	食料品、飲料・たばこ・飼料製造業 森永乳業
修士課程修了後の主な就職先	
情報通信機械器具、電子部品・デバイス・電子回路製造業 ソニー NEC 富士通 日立製作所 東京エレクトロン 日鉄ソリューションズ 三菱重工業	
情報通信業 ソフトバンク NTTコム KDDI LINEヤフー 野村総合研究所 楽天グループ NTTデータ アイシステム	



3年生の材料工学実験科目では無機材料の作製法を習得します

II 群 材料工学科

Department of Materials



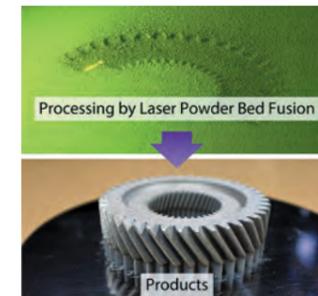
▲ Webサイト ▲ 動画

物質の理解、原料からの素材創出、その機能解明を通じて新材料を生み出す科学技術を学ぶ

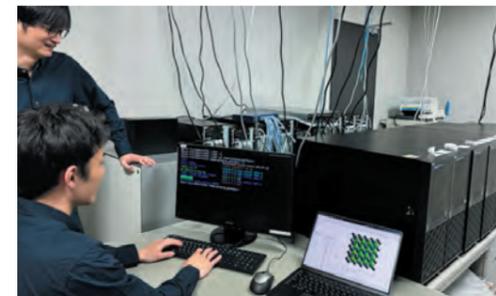
この学科のポイント！

私たちのくらしの発展は材料の進化と共にあります。スマートフォンをはじめとする情報通信技術は半導体材料、自動車は鉄鋼材料、航空機はアルミニウム合金など、私たちの生活の豊かさは材料の発展に支えられています。材料工学とは、物質に工夫を凝らして機能を持たせ、工業製品としての価値を与えて使える「モノ」にするための学問です。

材料工学科では、無機物質や金属材料を対象に、原料から材料を創出するための「冶金物理化学」、生み出された材料に熱処理や加工を施して機能を高めるための「構造用金属科学」、そして半導体や超伝導体など特異な機能をもつ材料を作製するための「機能材料科学」などの知識を学習します。卒業生たちは様々な分野で即戦力として活躍しています。



金属粉末にレーザーを走査し三次元複雑形状を造形するだけでなく内部の材料組織も制御する金属3Dプリンティング



計算科学と機械学習を活用したエネルギー材料の開発

私の研究内容 エネルギー材料工学研究室

材料工学科4年
福岡県筑紫丘高等学校出身
中嶋 柊星さん



材料工学科には、燃料電池や半導体、超伝導体など現代社会で需要の高い機能性材料を専門とする教授が多く、社会に出た際に役立つ最先端の知識やスキルを身につけることができます。私が所属する研究室は、これまでに発見されていない高機能な無機化合物を効率良く合理的に探索することがコンセプト。特にペロブスカイト構造を持つ物質に着目し、現在は燃料電池を構成する電解質や電極材料の開発に取り組んでいます。将来は無機化学の分野で研究者となり、世界のエネルギー問題を解決できる材料やプロセスを開発したいです。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
鉄鋼業、非鉄金属・素材 JFEスチール 山陽特殊製鋼 日本製鋼所 日本タンクステン	情報通信機械器具、電子部品・デバイス・電子回路製造業 Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 東京エレクトロン ソニー SUMCO
輸送用機械器具 トヨタ自動車 スズキ 豊田自動織機	昭栄化学工業 京セラ キャノン 村田製作所 キオクシア 三菱電機 パナソニック 日立製作所 日鉄ソリューションズ
電気・情報通信機械器具 京セラ	汎用・生産用・業務用機器 三菱重工業 ダイキン工業 凸版印刷 三菱マテリアル 川崎重工業
運輸業 ANA	電気・ガス・熱供給・水道業 中部電力 九電工
高等教育機関・公務 公務員	博士課程修了後の主な就職先
鉄鋼業、非鉄金属・素材 日本製鉄 JFEスチール 神戸製鋼所 大同特殊鋼 山陽特殊製鋼 愛知製鋼 住友電気工業 プロテリアル TOTO UACJ 三井金属 AGC 日本精工 昭栄化学工業 日本タンクステン	鉄鋼業、非鉄金属・素材 神戸製鋼所 大同特殊鋼 山陽特殊製鋼 日本製鉄 JFEスチール 日本精工 住友金属鉱山 東レ
輸送用機械器具 日産自動車 本田技研工業 トヨタ自動車 デンソー ダイハツ	電気・情報通信機械器具 日立製作所 ミネベアミツミ ウエスタンデジタル SUMCO
	高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 海外の大学 産業技術総合研究所 日本原子力機構 汎用・生産用・業務用機器 三菱重工業



X線光電子分光装置を使った電子状態解析

II 群 応用化学科

Department of Applied Chemistry



▲ Webサイト ▲ 動画

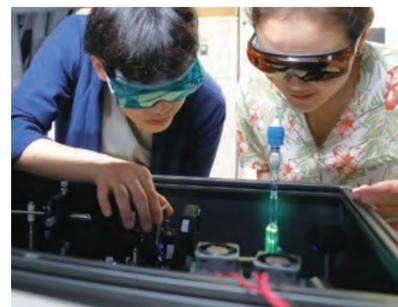
化学で人々の暮らしを豊かにし、
持続可能な社会の構築に資する学問を追究します

この学科のポイント！

応用化学は物質を自在に設計し、新しい機能と価値を創造する学問です。様々な分野と融合しながら、社会を支える学問として益々発展しています。本学科は機能物質化学コースと分子生命工学コースで構成されており、化学の分野を網羅する基礎科目に加えて、世界トップクラスの研究成果を生み出す教育・研究環境を整え、充実したカリキュラムを用意しています。機能物質化学コースでは主に高分子材料・無機材料を用いる触媒材料、複合素材、エレクトロニクス、ナノデバイスおよびそれらを支える理論解析を研究し、分子生命工学コースでは分子触媒、分子集積材料、エネルギー変換材料やバイオ医用材料、ヘルステクノロジーを研究しています。



X線回折装置を用いたセラミックスの結晶構造解析



有機化合物試料の光学測定



研究室での実験の様子 細胞の蛍光顕微鏡による観察

II 群 化学工学科

Department of Chemical Engineering

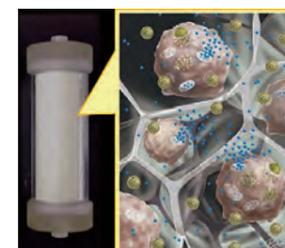


▲ Webサイト ▲ 動画

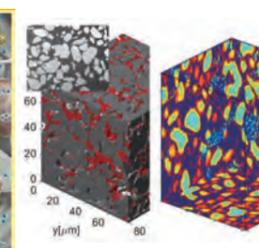
新材料、新現象を社会で実現化する力

この学科のポイント！

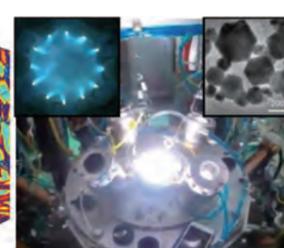
化学工学は、基礎研究を実社会で実用化するために欠かせない学問です。バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、環境、エネルギー、宇宙技術などの幅広い分野の発展に力を発揮しています。生命工学分野では、遺伝子工学を活かしたバイオ医薬品生産や再生医学技術の開発など、工学的なバイオテクノロジーが展開されています。環境分野では、プラズマを用いた廃棄物処理技術、燃料電池、二酸化炭素分離など、実社会の問題を解決する先端研究が進められています。情報工学を活用し、化学プロセスをシミュレーションによって高性能化する研究も行われています。本学科では、様々な課題に適用できる化学工学の基礎を学ぶことが最大の魅力です。



球状の細胞組織体が充填された人工肝臓システム



情報工学を活用した電池内シミュレーションの様子



多相交流アークプラズマ装置

私の研究内容
プロセスシステム工学研究室

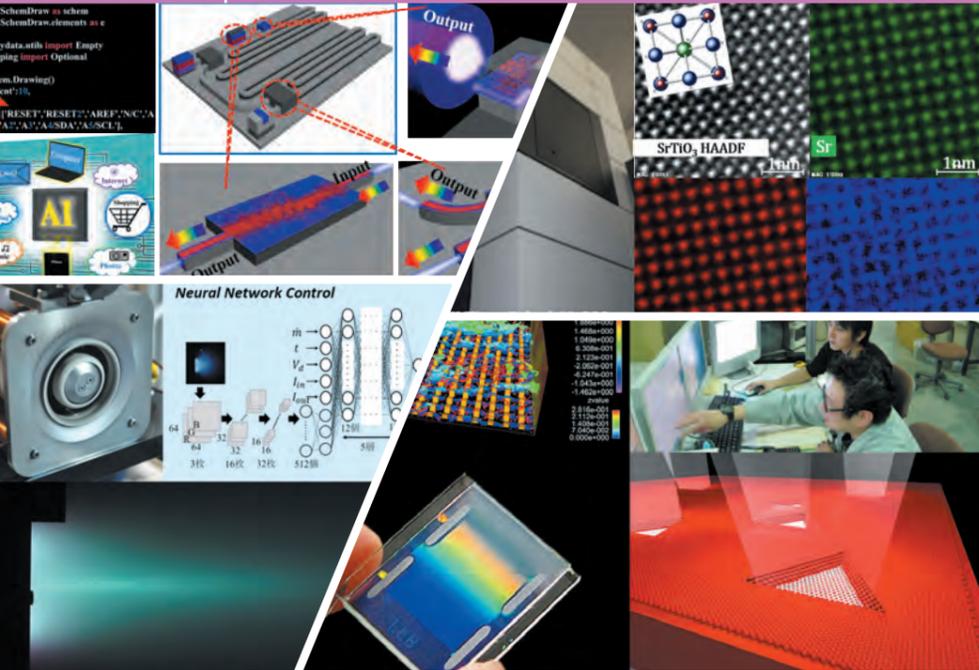
工学府 化学工学専攻・修士2年
大阪府追手門学院高等学校出身
佐藤 弘基さん



全固体電池の数値シミュレーションを行っています。全固体電池は容量や安全性の面から現在広く普及している液系のリチウムイオン電池を超える可能性があり、脱炭素社会実現に向けて実用化が期待されています。全固体電池では電池材料間の接触が電池性能に大きな影響を与えるため、電池材料間の良好な接触の維持が重要で、実用化に向けた大きな課題の1つです。その課題の克服に向けて、数値シミュレーションを用いて電池内部でどのような現象が起こっているのか、どのような構造の電池を作れば良好な接触を維持できるのかについて研究しています。

主な就職先リスト

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 学部卒業後の主な就職先 | 汎用・生産用・業務用機器 |
| 化学工業、石油・石炭製品 | 三菱重工 |
| 中外製薬 | 建設業 |
| 三菱ケミカルエンジニアリング | 日揮 |
| 情報通信業 | 東洋エンジニアリング |
| オービック | 食品・飲料製造業 |
| NTTデータ | アサヒビール |
| 高等教育機関・公務 | 卸売業 |
| 公務員 | 三菱商事 |
| 修士課程修了後の主な就職先 | サービス業 |
| 化学工業、石油・石炭製品 | EYストラテジー・アンド・コン |
| 旭化成 | サルティング |
| AGC | 博士課程修了後の主な就職先 |
| アステラス製薬 | 化学工業、石油・石炭製品 |
| 花王 | 旭化成 |
| 資生堂 | アステラス製薬 |
| クラレ | 中外製薬 |
| 住友化学 | 住友化学 |
| 中外製薬 | ポリプラスチック |
| 帝人 | 東ソー |
| テルモ | 高等教育機関・公務 |
| 東ソー | 学術研究 |
| 東レ | 九州大学ほか大学法人 |
| 日鉄ケミカル&マテリアル | 産業技術総合研究所 |
| 日本触媒 | |
| 三井化学 | |
| 三菱ケミカル | |
| 情報通信業 | |
| NTT西日本 | |
| 情報通信機器器具、電子部品・デバイス、電子回路製造業 | |
| 東京エレクトロン | |
| 三菱電機 | |



II群・III群 融合基礎工学科

Department of Interdisciplinary Engineering



“工学系分野の融合”×“情報科学”を基軸とし、
広い視野と実践的な行動力をもったAI時代のリーダーを創出

この学科のポイント！

私たちが直面している現代社会の諸課題（例：グローバルな環境・エネルギー問題）は多種多様で複雑です。それらの解決には、1つの専門分野ではなく、複数の専門分野を融合し、さらに情報科学を活用することで、新しい概念、アイデア、イノベーションを生み出せるリーダーが求められています。本学科の特徴は、複数の工学系分野を「融合」した学びにあります。物質科学と材料工学を融合した「物質材料コース」(II群)と機械工学と電気電子工学を融合した「機械電気コース」(III群)の2つのコースを有し、最新のAIやデータ科学も駆使しながら、問題解決型のアプローチにより、持続可能な未来社会の実現に向けた課題に果敢に挑戦しています。



四季の色彩豊かな筑紫キャンパス



新設された学生交流スペース

私の研究内容 計算材料科学研究室

融合基礎工学科4年
佐賀県唐津東高等学校出身
小山 拓人さん



第一原理計算という計算方法から得られた結晶のエネルギーのデータと結晶の金属原子の位置や種類の情報を用いて機械学習を行い、5種類以上の金属原子から構成されるハイエントロピースピネル型金属酸化物の安定な構造を探す研究やその構造の酸素発生触媒としての性能を計算する研究を行っています。実験ではなく計算によってより高性能な材料を探していくという点に独自の面白さがあります。

将来は、機械学習や計算手法を用いて現在の材料と比べてより良い材料を見つけることができる研究者になりたいです。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 東京電力 大阪ガス
情報通信業 Sansan	情報通信業 NTTドコモ NTT西日本
運輸業 スカイマーク	
教育・教養サービス業 大人の教養TV	
修士課程修了後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
化学工業、石油・石炭製品 旭化成 AGC 住友化学 三菱化学 三井化学 出光興産	化学工業、石油・石炭製品 旭化成 AGC 住友化学 三菱化学 三井化学 出光興産
電気・情報通信機械器具 京セラ 富士通 村田製作所 ソニーセミコンダクタ九州 三菱電機 ダイキン工業 日立製作所 パナソニックエナジー NEC 東京エレクトロン SUMCO	電気・情報通信機械器具 三菱電機 日立製作所 パナソニック 富士ゼロックス セイコーエプソン ニコン 東芝
輸送用機械器具 トヨタ自動車 本田技研工業 日産自動車 トヨタ自動車九州 マツダ ヤマハ発動機 デンソー 豊田自動織機 クボタ	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 日本製鉄 JFEスチール 神戸製鋼所 TOTO 古河電気工業 三井金属鉱業 住友金属鉱山
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 日本製鉄 JFEスチール 神戸製鋼所 TOTO 古河電気工業 三井金属鉱業 住友金属鉱山	汎用・生産用・業務用機器 川崎重工 三菱重工業
汎用・生産用・業務用機器 川崎重工 三菱重工業	汎用・生産用・業務用機器 三菱重工業 日立ハイテクノロジーズ
	情報通信業 NTTドコモ
	高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 産業技術総合研究所 物質材料機構(NIMS) 福岡県工業技術センター 有明工業高等専門学校 日本学術振興会特別研究員(PD) 国内の大学 海外の大学



手指リハビリテーションのために研究開発されたロボットSMOVE

III群 機械工学科

Department of Mechanical Engineering



あらゆるアイデアや技術を形あるものにする
機械技術者と研究者の入口

この学科のポイント！

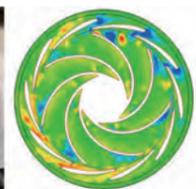
機械工学は、スマートフォン、コンピュータ、家電製品、空調機、自動車、飛行機などの身近なモノ、ロボット、医療器械、建設機械、工作機械、食品機械など専門分野で活躍するモノ、発電所や燃料電池などエネルギーを供給するためのモノやシステム、使われている部品や素材など、あらゆるモノを作るための基盤となる学問です。具体的には材料力学、機械力学、流体力学、熱力学、燃焼、設計法、制御、加工技術などの基礎知識と概念を学修します。さらに、生体工学や水素利用技術など、生物・医療やエネルギー・材料など従来の枠を越えた分野も学ぶことができます。



バイオライロロジー研究で支える人工関節の開発



遠心羽根車と流れの数値シミュレーション



私の研究内容 制御工学研究室

機械工学科4年
福岡県福岡高等学校出身
後藤 正太郎さん

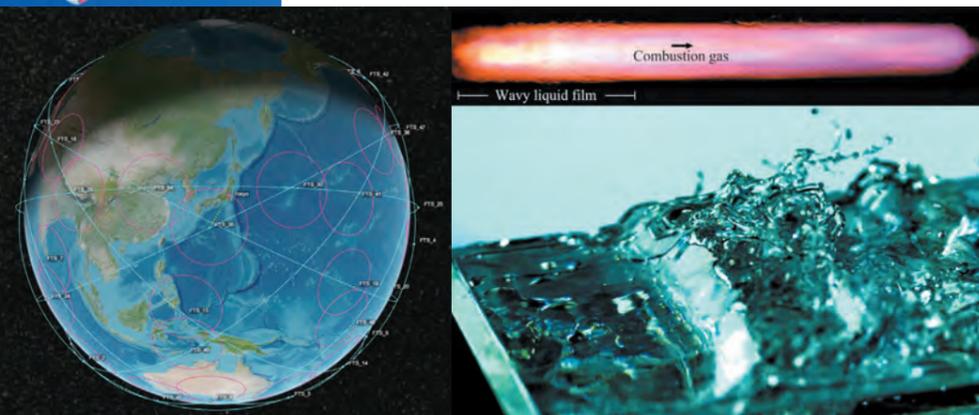
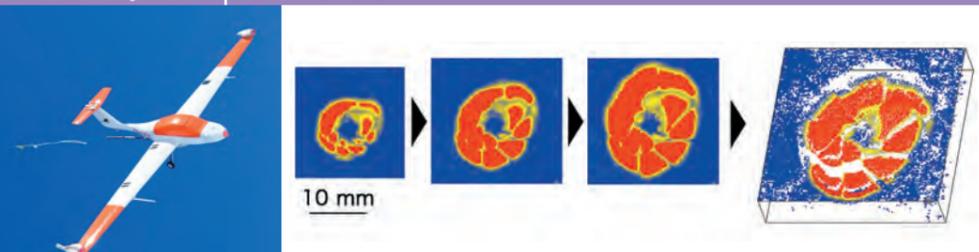


荷物を持ち上げる動作をコンピュータ上でシミュレーションし、動作中のバランスの取りやすさを評価する手法の構築を目指しています。転倒は高齢者にとって深刻な問題であり、特に荷物を持った状態ではバランスを崩しやすくなるため、転倒リスクが高まります。このような日常的な状況におけるリスクを定量的に評価し、予防につなげることは極めて重要です。

最終的には、ユーザーが自分の情報を入力するだけで転倒リスクが可視化され、安全な動作や荷物の条件を提案できるような支援システムの実現を目指しています。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	その他の製造業 ブリヂストン
運輸業 ANAウイングス ジェイエア 東日本高速道路	電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 関西電力
化学工業、石油・石炭製品 帝人	電子部品・デバイス・電子回路製造業 東京エレクトロン
情報通信業 NHK(日本放送協会)	建設業 日鉄エンジニアリング
修士課程修了後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
輸送用機械器具 SUBARU クボタ トヨタ自動車 トヨタ自動車九州 豊田自動織機 日産自動車 本田技研工業 シマノ	汎用・生産用・業務用機器 IH 川崎重工 西島製作所 三浦工業 三菱重工業 三菱日立パワーシステムズ
運輸業 JR九州 JR東海	輸送用機械器具 Hyundai Steel デンソー トヨタ自動車 豊田中央研究所 日産自動車 大豊工業 NOK
汎用・生産用・業務用機器 IH 川崎重工 小松製作所 三浦工業 三菱重工業 島津製作所 キヤノン JASM	電気・情報通信機械器具 キャンメティカルシステムズ 東芝 ニコン リコー
化学工業、石油・石炭製品 富士フィルム 帝人 三井化学	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 日本精工 日本製鉄 山陽特殊製鋼
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JFEスチール TOTO 日本精工 日本製鉄 神戸製鋼所	電子部品・デバイス・電子回路製造業 マイクロメモリアン
電気・情報通信機械器具 京セラ ダイキン工業 パナソニック 日立製作所 村田製作所 安川電機 ヤンマー	情報通信業 とめ研究所
	高等教育機関・公務・学術研究 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 九州大学ほか国立大学法人 産業技術総合研究所 私立大学



航空宇宙工学科

Department of Aeronautics and Astronautics



▲ Webサイト ▲ 動画

最先端の知識と技術を結集し、
空と宇宙のフロンティアを切り拓く夢へ踏み出す第一歩

この学科のポイント！

日本の航空宇宙開発は近年急速に進展しており、小型月着陸実証機SLIM による月面探査は記憶に新しく、次期基幹ロケットH3 や月や火星を目指す深宇宙ミッションも進行しています。また、超音速旅客機や電動航空機といった次世代モビリティの開発も活発に進められています。

本学科は、日本人初の国際宇宙ステーション船長となった宇宙飛行士の若田光一さんをはじめ、宇宙開発や航空産業の第一線で活躍する人材を数多く輩出しています。また、JAXAや企業、海外との共同研究も盛んに行っており、研究者・技術者としての道を踏み出すには最適の場所です。皆さんも航空宇宙工学科で学び、空や宇宙の夢を追求し、現実に変えてみませんか？



アーク加熱風洞による耐熱試験



マルチコプターの自律飛行

私の研究内容
誘導・制御工学研究室

工学府 航空宇宙工学専攻・修士1年
静岡県掛川高等学校出身
山崎 健太郎さん



ティルトローター型航空機を対象に、機体の形状や機体運動の制御について研究しています。ティルトローター型の航空機は、固定翼機の高効率かつ高速な飛行と回転翼機の垂直離着陸性能を両立するため、次世代の空モビリティとして活躍することが期待されています。その一方、従来機では遷移モードにおける空気が複雑で機体の制御が難しいという課題があり、実用化は限定的です。本研究では、利点を損なうことなく課題を克服できるような機体形状をシミュレーションにより特定したうえで、その有用性を実証するために小型の機体を用いた飛行試験に取り組んでいます。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	修士課程修了後の主な就職先
運輸業 JAL ANA 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 輸送用機械器具 トヨタ自動車 本田技研工業	博士課程修了後の主な就職先 高等教育機関・公務・学術研究 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 九州大学ほか大学法人 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 川崎重工業 IHI
修士課程修了後の主な就職先 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 川崎重工業 IHI SUBARU 住友精密工業 輸送用機械器具 トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業 マツダ 三菱自動車 デンソー	輸送用機械器具 デンソー 電気・情報通信機械器具 日立製作所 東芝 キャノン 富士通 NEC 高等教育機関・公務・学術研究 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)



量子物理工学科

Department of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering



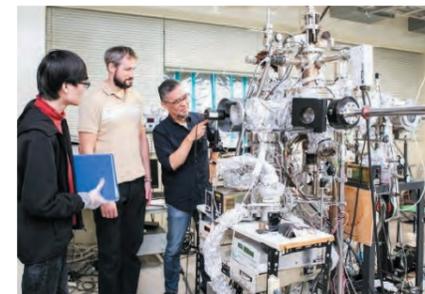
▲ Webサイト ▲ 動画

目に見えないミクロな物理現象の解明と応用で、
人類社会の発展に貢献する技術者と研究者の入口

この学科のポイント！

近代物理学の新しい学問体系である量子力学と相対性理論の出現はそれまでの物質や時間・空間に対する認識を一新させました。これにより原子核、原子、分子、電子などのミクロな実体から、その集合体である物質、さらには宇宙という巨大な世界までを体系的に理解できるようになりました。

量子物理工学科では量子力学や相対性理論とともに力学、電磁気学、熱力学、統計力学などの現代物理学を構成する基礎的学問を系統的に学修します。その上で応用物理学、量子ビーム、加速器工学、原子核/原子力工学などについても学んでいき、新しい時代の科学と工学を自ら切り拓いていく力強い技術者や研究者を育成します。



超高真空中(約1兆分の1気圧)で二次元構造の機能性物質を創製する実験装置



固定磁場集束(FFAG)型の陽子加速器

私の研究内容
量子線物性工学研究室

量子物理工学科4年
佐賀県唐津東高等学校出身
田中 友基さん



電子顕微鏡を用いた物質・材料の研究を行っています。「光」を利用した通常の顕微鏡とは異なり、電子顕微鏡は「電子」を利用して原子スケールで物質を観察できます。大きく分けて2つの研究テーマがあり、1つは最先端の電子顕微鏡法を用いた物質・材料の観察・解析、もう1つは電子顕微鏡に関わる新技術の開発です。私の研究は1つ目に関連し、リチウムイオン電池を構成する材料の観察、解析及び評価を行っています。将来は、この学科で学んだ知識や研究を通じて得られる解析技術・多様な視点などを生かし、社会を陰から支える先端技術の開発に携わりたいです。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	化学工業・石油・石炭製品
電気・情報通信機械器具 日立製作所 京セラ 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 TOTO 三井金属鉱業 運輸業 西日本鉄道 建設業 JFEエンジニアリング 輸送用機械器具 マツダ パナソニックITS	旭化成 JXTGエネルギー 東ソー 高等教育機関・公務・学術研究 日本原子力研究開発機構 原子力規制庁 輸送用機械器具 トヨタ自動車 デンソー 本田技研工業 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 カンケンテクノ
修士課程修了後の主な就職先 電気・ガス・熱供給・水道業 日本原燃 九州電力 日本原子力発電 高等教育機関・公務・学術研究 原子力規制庁 情報通信業 NTTデータ	博士課程修了後の主な就職先 学術研究・専門・技術サービス 量子科学技術研究開発機構 日本原子力研究開発機構 放射線医学総合研究所 核融合科学研究所 国立天文台 原子力エンジニアリング 電気・情報通信機械器具 富士電機 東芝 リガク 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 原子燃料工業 三菱原子燃料 汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業 日立ハイテクノロジーズ 高等教育機関・公務・学術研究 九州大学ほか大学法人 海外の大学 化学工業・石油・石炭製品 旭化成 情報通信機械器具、電子部品・デバイス・電子回路製造業 村田製作所
修士課程修了後の主な就職先 電気・情報通信機械器具 ソニー 富士通 三菱電機 日立製作所 富士電機 ダイキン工業 古河電気工業 日本アイ・ビー・エム 情報通信業 東京海上日動システムズ 日鉄ソリューションズ アクセンチュア 西日本電信電話 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 中国電力 関西電力 中部電力 東京電力 日本原燃 原子燃料工業	



浮体式洋上風力発電施設

IV 船舶海洋工学科

Department of Naval Architecture and Ocean Engineering



▲ Webサイト ▲ 動画

持続的な海洋開発を担い、

海と人類の共生に貢献できる技術者・研究者への扉

この学科のポイント！

国土を海に囲まれた日本の発展には、社会・生活を支えるエネルギー・資源の調達や輸出のための海上輸送、資源開発など海洋の有効利用が必要です。本学科は構造・流体・材料・制御等の基礎的な分野だけでなく、巨大な船や海洋構造物を開発・設計・生産する総合工学を学ぶ特色あるカリキュラムを有します。

実地で学ぶ工場の見学・実習、船一隻を設計する演習など多面的に学びます。コンピュータを使ったプログラミング・シミュレーション・設計・AIなどIT教育も豊富です。

卒業生への評価は高く、求人数は多く、輸送機器・重工業の他、多様な企業や研究機関に就職しています。



船舶運動性能試験水槽における操縦性能試験



高速回流水槽を使った船体抵抗試験

私の研究内容

船舶海洋運動制御工学研究室

船舶海洋工学科4年
大分県日田高等学校出身
江田 陸さん

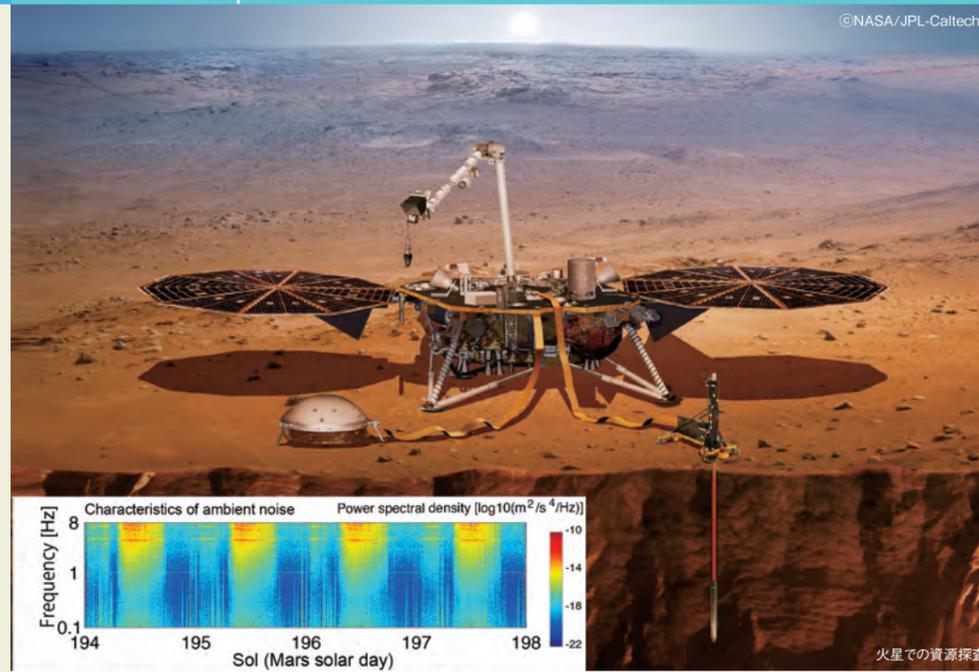


船舶の運動は、船の形状が違う場合は当然として、同一の形状であったとしても、風や潮流・波等の外乱、水深や水路や岸壁の形状などにより変わってきます。これらが異なる場合、船舶の運動に与える影響はとても複雑でまだわかっていない部分もあります。

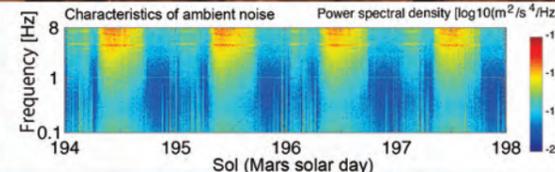
当研究室では長さ38.8m、幅24.4m、水深2mの巨大な試験水槽を用いて行う実験やコンピュータシミュレーションを利用して船の運動を推定・評価する研究をしています。近年では、これまでの研究で得た知見を生かして船舶の自動航行に関する研究も行っています。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	三井海洋開発 日揮 東洋エンジニアリング 五洋建設
輸送用機械器具 大島造船所 ジャパン マリンユナイテッド 今治造船 名村造船所 尾道造船 福岡造船 トヨタ自動車 ヤマハ発動機 クボタ	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JFEスチール 日本製鉄 神戸製鋼所
電気・情報通信機械器具 日立製作所	電気・情報通信機械器具 日立製作所
学術研究、専門・技術サービス 関西設計	学術研究、専門・技術サービス 日本海事協会
高等教育機関・公務 国土交通省 県庁 市役所	高等教育機関・公務 防衛装備庁 海上自衛隊幹部候補生学校 国土地理院
電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力	博士課程修了後の主な就職先
修士課程修了後の主な就職先	輸送用機械器具 ジャパンマリンユナイテッド 三井E&Sマシナリー
輸送用機械器具 大島造船所 ジャパン マリンユナイテッド 川崎重工業 三井E&S造船 名村造船所 今治造船 住友重機械マリンエンジニアリング 新来島どつく 三菱造船 三菱重工マリンシステムズ トヨタ自動車 本田技研工業 日産自動車 ヤマハ発動機 豊田自動織機 デンソー カワサキモーターズ	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JFEスチール 日本製鉄
学術研究、専門・技術サービス 日本海事協会 海上技術安全研究所	学術研究、専門・技術サービス 日本海事協会 日本学術振興会特別研究員(PD) 海外の大学
汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業	汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業
高等教育機関・公務・学術研究 防衛装備庁 九州大学ほか大学法人 日本学術振興会特別研究員(PD) 海外の大学	高等教育機関・公務・学術研究 防衛装備庁 九州大学ほか大学法人 日本学術振興会特別研究員(PD) 海外の大学
運輸業 川崎汽船 日本郵船 商船三井	運輸業 オーシャンネットワークエクスプレスジャパン
建設業 戸田建設 清水建設	



©NASA/JPL-Caltech



火星での資源探査

IV 地球資源システム工学科

Department of Earth Resources Engineering



▲ Webサイト ▲ 動画

地球規模の資源・エネルギー・環境問題の解決に向けて
世界トップレベルの教育・研究拠点で学ぶ

この学科のポイント！

本学科は、鉱物・エネルギー資源の開発に関わる地球規模の課題に取り組んでいます。探査・採掘・精製分離から防災・再生まで、資源開発の全過程を網羅し、CO₂地中貯留、都市鉱山資源のリサイクル、金属汚染環境の修復、地球外資源探査なども研究・教育対象としています。

これらの資源は社会と産業の基盤であり、本学科ではその持続可能な利用を探究します。3年次には国内外の企業でインターンシップを実施し、実践的な経験を積みます。研究室では留学生と交流しながら分野横断型の研究に取り組みます。国際的視野と主体的な学習姿勢を持つ学生には、世界で活躍する道が開かれています。



国際フィールド調査 チェコ国Jeronym銀鉱山跡



火口の噴気活動調査

私の研究内容

資源処理・環境修復工学研究室

地球資源システム工学科4年
兵庫県須磨学園高等学校出身
山田 涼介さん



資源開発を総合的に学ぶことができる大学は国内に4拠点ほどありますが、中でも九州大学は実験設備などの環境が最も整っていると思います。

私の研究は、日本の深海から採掘された「海底鉱物資源」を微生物に分解してもらうバイオリーチングという研究です。私が使っているサンプルは日本の深海から採掘された「海底資源」で「深海を知る」というロマンが原動力になっています。実は深海は宇宙よりも研究開発が難しく、研究している技術が実用化されれば日本は最大の資源国となり、脱炭素社会の実現にも近づけることができると考えています。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	運輸業 全日本空輸 日本航空 日本郵船 トヨタ自動車九州
電気・ガス・熱供給・水道業 石油資源開発 INPEX コスモエネルギーホールディングス 九州電力	建設業 千代田化工建設 清水建設 日揮ホールディングス
卸売業 三菱商事 伊藤忠商事	輸送用機械器具 日立造船 日立建機
高等教育機関・公務 県庁 市役所	汎用・生産用・業務用機械器具 小松製作所
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 JX金属 三菱マテリアル	学術研究、専門・技術サービス アクセンチュア エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC) ペイカレント アビームコンサルティング エム・アール・アイリサーチ ソシエイツ
学術研究、専門・技術サービス シンプレクス・ホールディングス	修士課程修了後の主な就職先
電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力 九電工 東京電力ホールディングス 電源開発(J-POWER) 中国電力 西部ガス 大阪ガス ENEOS 出光興産 コスモエネルギーホールディングス 石油資源開発 INPEX JX石油開発 シュルンベルジュ 伊藤忠石油開発 JERA	非金属製品 AGC
輸送用機械器具 大島造船所 ジャパン マリンユナイテッド 川崎重工業 三井E&S造船 名村造船所 今治造船 住友重機械マリンエンジニアリング 新来島どつく 三菱造船 三菱重工マリンシステムズ トヨタ自動車 本田技研工業 日産自動車 ヤマハ発動機 豊田自動織機 デンソー カワサキモーターズ	情報通信業 フレクト
学術研究、専門・技術サービス 日本海事協会 海上技術安全研究所	金融 三菱UFJ銀行
汎用・生産用・業務用機械器具 三菱重工業	博士課程修了後の主な就職先
高等教育機関・公務・学術研究 防衛装備庁 九州大学ほか大学法人 日本学術振興会特別研究員(PD) 海外の大学	学術研究、専門・技術サービス 産業技術総合研究所 電力中央研究所 自然エネルギー財団 エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC) wKing
運輸業 川崎汽船 日本郵船 商船三井	高等教育機関・公務 九州大学ほか大学法人 福岡県保健環境研究所
建設業 戸田建設 清水建設	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品 日鉄鉱業 カーボンフロンティア機構(JCOAL)
	卸売業 三菱商事 住友商事 丸紅 三井物産 伊藤忠商事



3年時に行われる研修旅行 (新名神高速道路建設現場など)

IV 土木工学科

Department of Civil Engineering



▲ Webサイト



▲ 動画

サステナブルで豊かな国土や都市を構築するための技術を学ぶ

この学科のポイント！

土木工学(Civil Engineering)は、私たちが安全・安心で幸福 (Well-being) な暮らしを営むために不可欠な、都市、道路、橋、堤防、上下水道、鉄道、港などの国土基盤を整備・保全するための幅広い学問です。

土木技術は人類の歴史とともに発展してきました。激甚化する災害への備え、グリーンインフラを活用した都市と自然の調和、ビッグデータの活用や自動運転社会への対応など、新しい技術を取り入れ、50年、100年後の未来を見据えた持続的で豊かな国土や都市の構築を目指しています。

環境・社会・経済の問題が山積した変化の激しい現代社会で、幅広い技術力と多様なアイデアを結びつけ、市民の暮らしを豊かにできる土木技術者が必要とされています。



グリーンインフラ (防災と自然環境再生の両立)



「プロジェクトものづくり」での木橋製作

私の研究内容 水圏環境工学研究室

土木工学科4年
広島県広島大学附属福山高等学校出身
島本 奈々さん



私が所属する研究室では、水循環や気象・大気環境に関する研究を行っています。具体的には地下水環境や棚田の防災機能の解析、ニューラルネットワークを用いた線状降水帯の発生診断・予測、リモートセンシング (衛星データ) を用いた大気環境の解析などを行っています。

私はまだ研究室に配属されたばかりですが、古文書の記述から、過去 (江戸時代など) に発生した線状降水帯や豪雨災害をデータにし、現代や将来の気象防災につなげる研究に取り組みたいと考えています。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	運輸業
建設業	JR各社
鹿島建設	高速道路各社 (NEXCOなど)
大林組	学術研究、専門・技術サービス
清水建設	日本工営
大成建設	建設技術研究所
前田建設工業	オリエンタルコンサルタンツ
五洋建設	パシフィックコンサルタンツ
奥村組	八千代エンジニアリング
西松建設	西日本技術開発
東亜建設工業	構造計画研究所
オリエンタル白石	不動産業
高等教育機関・公務	NTT都市開発
国土交通省	東京建物
環境省	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品
県庁	日本製鉄
市役所	三菱マテリアル
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業
電力各社	電力各社
学術研究、専門・技術サービス	西部ガス
日本工営	大阪ガス
オリエンタルコンサルタンツ	情報通信業
パシフィックコンサルタンツ	NTT西日本
	NTTコム

修士課程修了後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
建設業	高等教育機関・公務
鹿島建設	九州大学ほか大学法人
大林組	海外の大学
清水建設	国立研究開発法人
大成建設	
五洋建設	
前田建設工業	
横河ブリッジ	
JFEエンジニアリング	
日鉄エンジニアリング	
IHIインフラシステム	
高等教育機関・公務	
国土交通省	
環境省	
防衛省	
県庁	
市役所	



学外での地域住民を交えた設計課題講評会風景

V 建築学科

Department of Architecture



▲ Webサイト



▲ 動画

住宅から都市に至る人間の多様な生活に密着した空間を造り出す建築家や技術者、研究者を養成します。

この学科のポイント！

建築学は技術的問題から社会的・文化的問題まで広い領域に関わっており、建築・都市の分野に携わる者には、多様な要素を総合的にまとめる能力に加えて、芸術的な造形能力が求められます。建築学科では、建築・都市の文化と歴史を顧み、建築・都市を理論的に計画し、具体的な形に設計する方法、快適で健康的な空間をつくる環境技術、丈夫な建物をつくる構造技術、建築の材料と施工技術などについて研究と教育を行っています。

本学科のカリキュラムは、建築学に関わる諸知識を体系的・理論的に学ぶ講義、具体的なデザイン手法を習得する設計演習、専門知識を体得する実験などでバランスよく構成され、国際社会の第一線で活躍する人材を養成します。



学生によるセルフビルドのパビリオン製作



風環境シミュレーションを利用した設計案の検討

私の研究内容 建築デザインエンジニアリング学研究室

人間環境学府
空間システム専攻 修士1年
広島県基町高等学校出身
齋藤 巧さん



研究室では「建築をつくる材料」と「建物をとりまく環境」の2つのテーマに取り組んでいます。例えば、牡蠣の殻を使ったコンクリートや、土・菌糸体・火山灰など、自然素材を活かした新しい建築材料の研究です。身のまわりにある“当たり前”の素材が、実は建築にどんな可能性を秘めているのかを探るのは、とてもおもしろく、やりがいのある挑戦です。

建物の中やまわりを流れる風、熱の動きといった「環境」の研究も行っており、暮らしをより快適に、持続可能にするヒントを見つけ出そうとしています。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	乃村工藝社
建設業	日本工営
鹿島建設	不動産業
建設設備設計研究所	NTT都市開発
積水ハウス	東急不動産
大成建設	東京建物
大和ハウス工業	野村不動産
VUILD	三井不動産
不動産業	運輸業
福岡地所	JR各社
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	私鉄各社
Primetals Technologies Japan	電気・ガス・熱供給・水道業
電力各社	電力各社
ガス各社	ガス各社
電気・ガス・熱供給・水道業	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業
電力各社	YKK AP
高等教育機関・公務	学術研究、専門・技術サービス
都庁	アクセンチュア
県庁	三菱総合研究所
市役所	高等教育機関・公務
防衛省	国土交通省
	環境省
	県庁
	市役所
修士課程修了後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
建設業	高等教育機関・公務
大林組	九州大学ほか大学法人
鹿島建設	私立大学
清水建設	海外の大学
大成建設	建築研究所
竹中工務店	企業等研究機関
住友林業	
積水ハウス	
日建設計	
日本設計	
三菱地所設計	
藤本社介建築設計事務所	
内藤廣建築設計事務所	
OMA (Office for Metropolitan Architecture)	
ARUP	



先輩との交流会

研究室見学会

VI群

複数の学科に関心がある人や、目標に向かうための進路を明確にしたい人のための選抜

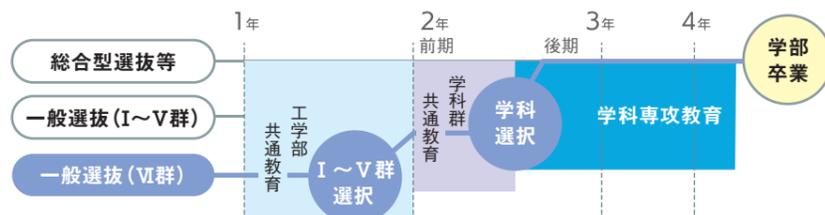
入学時には学科群が未定で、入学1年後に学科群を選択できる入試選抜の枠組みです。より多くの正確な情報に基づいて進路を考え、学科群を選択することができます。

「各学科の分野紹介の講義」を聞けるほか、「先輩との交流会」で先輩に尋ねたり「研究室見学会」で研究室を自分の目で見てその場で質問したりできるため、学科群の有用な情報を得ることができます。

1年次は「工学部共通教育科目」を履修するため、I~V群の学生に比べて学習面で不利が生じることは全くありません。

授業では

- 1年次(工学部共通教育)「先端技術入門A」「先端技術入門B」
全ての学科の分野における最先端技術や、基盤となる学問分野の役割と重要性を学ぶため、学科群選択に活かすことができます。
- 2年次(工学部共通科目)「工学概論」
各群における専門的な技術や研究内容がより詳しく紹介され、学科の教育内容とキャリアについて学ぶため、学科選択に活かすことができます。



※学科群及び学科の配属は、「志望」や「大学での授業成績」等に基づいて決定します。

VI群受験はこんな生徒にオススメ!

複数の学科に関心がある人

- 物理系にも電気系にも興味がある!どちらに進もうかな...
- 計算科学をやってみたいし、物質のミクロな世界も学びたい!講義を受けてみてから学科を選びたいな

目標に向かうための進路が不明な人

- 将来はエネルギーの研究開発に携わりたい!そのためには、どのような分野に進んで行けばいいのかな?~

学科や専門分野のイメージが湧かない人

- 理系科目が好きなので工学部でいろいろ学びたいけど、どの分野でどのようなことを学べるの?
- 工学部は分野が広くて、高校でも十分な情報を得るのが少し難しいから、まだよく分かっていないんだよね



VI群受験した先輩に聞きました

建築学科 3年
(2023年VI群で入学、2年生でV群へ配属、2年後期で建築学科へ進学)
末岡 有里さん
長崎県諫早高等学校出身



分野について横断的に学べるということで、工学という学問について詳しく知り、自分の興味や適性を見極めてからこれからやることを決めても遅くないと思ってVI群を選びました。この群に入っていなかったら知らなかったであろう他の群に関係する施設などを見学できたり、いろいろな群の先生や先輩方からお話が聞けたりするイベントは、自分の工学という分野の視野を広げてくれたとてもいい機会でした。VI群の1年間を通して自分がやりたいと感じて建築学科配属を希望したため、将来はやはり建築に関わる職業に携わりたいと考えています。

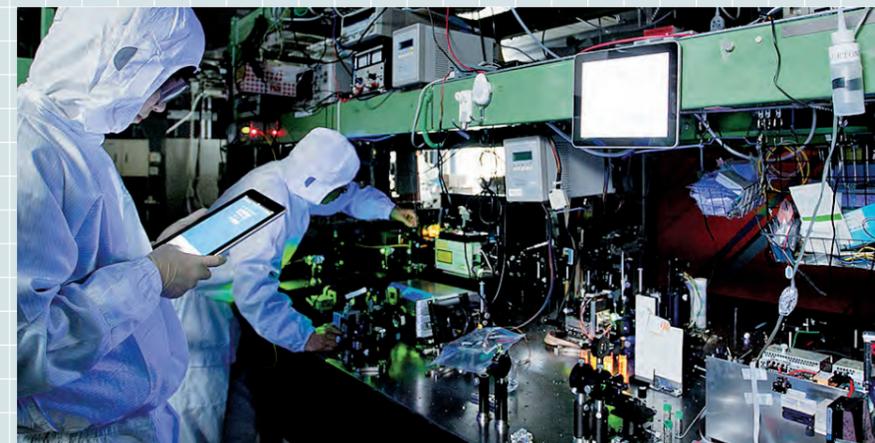
III群 2年
(2024年VI群で入学、2年生でIII群へ配属)
宮廻 知碩さん
広島県広島市立舟入高等学校出身



工学部は学科の数が多くに加え、それぞれの学科が異なる魅力を持っていたために、なかなか受験する学科を絞ることができませんでした。1年間かけて先輩や先生方から多くの情報を得て、その後に進む学科を選択できるVI群は、当時の私にとって非常に適した選択肢でした。VI群の大きな魅力はやはり進路の多様さです。夏休みに行われる研究室見学では、実際に研究室や研究設備を見て周ることで、その学科でどのような研究が行われているのかを自身の目で確かめることができます。将来は宇宙関係の仕事に就きたいと考えています。一年間かけて様々な分野に触れ、今後は大学進学当初は全く想像していなかった道を歩むことになります。

大学院のススメ

九州大学工学部の卒業生は、社会からの強い期待、要請もあり、その多くが大学院修士課程に進学しています。九州大学工学部・大学院工学府では、充実した教育研究環境を活かして学部の学士課程4年間に大学院修士課程2年間を加えた6年間の一貫した教育プログラムを整備しており、多くの優秀な修士課程修了生が様々な分野で活躍しています。また、社会が複雑化するなか、国際競争力を向上し、社会課題の解決に貢献する高度専門人材、「新しい価値を創造する人材」、「イノベーションを創出できる人材」の育成が求められていて、これに応えるべく博士課程の教育にも力を入れています。皆さんも、強い志を持って大学院に飛び込んでみませんか?



工学府

- 材料工学専攻
- 応用化学専攻
- 化学工学専攻
- 機械工学専攻
- 水素エネルギーシステム専攻
- 航空宇宙工学専攻
- 量子物理学専攻
- 船舶海洋工学専攻
- 地球資源システム工学専攻
- 共同資源工学専攻
- 土木工学専攻

システム情報科学府

- 情報理工学専攻
- 電気電子工学専攻

総合理工学府

- 総合理工学専攻

人間環境学府

- 都市共生デザイン専攻
- 空間システム専攻

工学部・工学府の学生支援について

各種奨学金・助成金(工学部・大学院工学府学生対象)

工学部・大学院工学府の学生を対象に、例年様々な地方公共団体・民間奨学団体から奨学金・助成金の募集案内があります。募集案内のあった奨学金・助成金については、所属の学科・専攻事務室を通じて通知されます。

研究奨励金・奨学金(大学院工学府学生対象)

- 博士課程学生支援プログラム(SPRING/BOOST)
- 九州大学大学院研究力強化奨学金
- 優秀な修士課程等の学生に対する授業料支援
- 工学府博士後期課程研究支援奨学金



学生支援の詳細はQRコードから工学部Webサイトにてご確認ください。⇒



九州大学の経済支援について

集え 未来人材!! あなたを支える経済的支援

九州大学の奨学支援制度のご案内ページです。九州大学は「新たな社会をデザインする力と課題を解決する力を有し、グローバルに活躍できる価値創造人材の育成」を掲げ、あなたの学びを応援します。

支援対象者から経済的支援制度を探す

- 高校生 ※大学入学前に申請可能(支援開始は入学後)
- 学部生 ●修士課程学生 ●博士(後期)課程学生

目的から経済的支援制度を探す

- 経済的に困難な学生への支援
- 特に優秀な学生への支援
- プログラム等に所属する学生への支援
- 留学・国際学会発表する学生への支援
- 被災学生への支援



詳しくはWebサイトにてご確認ください。

※2025年4月1日時点の情報です。今後変更となる可能性があります。

※2025年4月1日時点の情報です。今後変更となる可能性があります。

Welcome message 先輩からのメッセージ

敷地はとても広大で、研究設備も充実しています。私は基本的にイーストゾーンにある、共進化社会システムイノベーション施設で研究していますが、隣にあるPCNER、ウエストゾーンの工学部の研究施設もすべて使うことができ、いろいろな測定をすることができます。

地球の自転を感じる フーコーの振り子

秋成 光太さん
システム情報科学府
情報理工学専攻 修士1年

ウエスト2号館の上層階からは、付近に広がる田畑や博多湾、背振山系の山々が見えて景色が良く、気分転換したい際に眺めています。日本最大級のフーコーの振り子があり、見る度に振り子の振動面が変化しており、地球の自転を感じられます。

私はラグビー部に所属しており、週4日練習に励んでいます。学年や学部を超えた繋がりも魅力で、日々の活動を通じて人間関係の幅が広がりました。勉強との両立は簡単ではありませんが、時間の使い方や集中力も自然と身につく、充実した学生生活を送っています。

サークル活動の魅力は 学年や学部を超えた 繋がり

後藤 正太郎さん
機械工学科 4年



開放感たっぷりの学食 「ビッグスカイ」がおすすめ

齋藤 巧さん
人間環境学府
空間システム専攻 修士1年

「ビッグスカイ」はイーストゾーンにあ食堂で、その名の通り、全面がガラスの建物とても開放感があります。おすすめは日替わり定食の「パン粉焼き」です。鶏肉にスパイスの入ったパン粉をまぶしたものを焼いた料理で、サクサクで美味しいです。

九大混声合唱団には多くの団員が所属し、みんなで壮大なハーモニーを作り上げることができるのが魅力です。コンクールや定期演奏会など外での発表の機会もたくさんあります。九大ピアノの会にも所属しており、課外活動施設にあるピアノを弾いてリフレッシュしています。

みんなで作り上げる ハーモニーが魅力

島本 奈々さん
土木工学科 4年

九州大学工学部の先生方は、研究者として多くの実績を持ちながらも、学生に対して熱心で親しみやすく接してくれます。先生方の豊富かつ広い知識量は限りがないように感じています。研究内容、結果に関して先生方と議論する中で新たな知識を提供して下さり、問題が解決することが多くあります。

熱心かつ親しみやすく 接して下さる先生方

佐藤 弘基さん
工学府化学工学専攻 修士2年



理系図書館では 豊富な蔵書も簡単検索

理系図書館ではウェブページで蔵書や貸出状況を簡単に調べることができます。研究に必要な図書をその場で検索し、収蔵場所に直行することができます。また、蔵書が豊富なため、周辺にある質の高い関連図書も一緒に借りることが多くあります。

山崎 健太郎さん
工学府航空宇宙工学専攻 修士1年

大掛かりな実験が多い 船舶海洋運動制御 工学研究室

江田 陸さん
船舶海洋工学科 4年

船舶の運動を推定するために、実験やコンピュータシミュレーションを利用しています。中でも、実験は巨大な試験水槽で大きな模型船を操作して行うことができます。研究対象についても、近年では自動航行から特殊な形状の舵の性能まで幅広い対象を研究している点も魅力です。

改装が進んでいる筑紫キャンパスで施設が新しくなっている部分が多く、講義室や実験室など綺麗で使いやすい環境が整えられています。最寄り大野城駅から徒歩1分でキャンパスに着くことや、天神・博多にアクセスしやすく周辺地域が発展していることも魅力です。

筑紫キャンパスは アクセスの良さが魅力

小山 拓人さん
融合基礎工学科 4年

伊都キャンパスは 「のんびり通学」もオススメ

静かで緑に囲まれた、落ち着いた雰囲気を持っているキャンパスで、勉強に集中するには打ってつけの環境です。比較的涼しい時期には、学研都市駅から歩いて通学すると、のどかな田園風景を眺めながらのんびりと通学できるのでおすすめです。

宮廻 知碩さん
Ⅲ群 2年



世界各地から人が訪れる 超顕微解析研究センター

田中 友基さん
量子物理工学科 4年

九州大学には多種多数の電子顕微鏡があり、その多くがこの超顕微解析研究センターに設置されています。超高圧電子顕微鏡は世界で唯一の装置を備えており、他の高感度・高分解能な電子顕微鏡とともに、施設を利用するため日本や世界各地の大学から多くの人が訪れています。

MESSAGE OB・OGメッセージ

境 小牧さん

ジャパン マリンユナイテッド株式会社

設計本部 有明設計部 構造設計グループ 詳細設計チーム

(工学府船舶海洋システム工学専攻2006年3月修士課程修了 工学部地球環境工学科2004年3月卒業)



有明事業所では、原油を運ぶタンカー、鉱石等を運ぶバルクキャリア、コンテナを運ぶコンテナ船等、貨物を運ぶ船を建造しています。私は構造設計の中の詳細設計という部署に所属しています。

構造設計では強度計算を基に、部材の配置や寸法を決定し、その情報を織り込んだ図面を作成します。更にその図面を基に、部品単位の情報へ展開していきます。学生時代の学びが業務に直結していますが、特に構造力学は、もっと真面目に勉強しておけば良かったと思うほど生かされています。

井上 雄太さん

全日本空輸株式会社

(工学府物質プロセス工学専攻2022年3月修士課程修了 工学部物質科学工学科2020年3月卒業)



ANAの国内線・国際線で客室乗務員として働いています。最大の任務である保安業務をベースに、食事や飲み物のご提供、機内販売、到着地のご案内など業務内容は多岐にわたり、瞬時の判断力や洞察力、想像力が求められます。一番のやりがいを感じるのは、お客様から「ありがとう」と言葉をいただくときです。九大在籍時、私の研究室には留学生も多く英語が共通言語でした。そのような語学力や物事を正確に伝える力は、CAの仕事にとっても生かされています。

井上 翔太さん

電源開発送変電ネットワーク株式会社

送電部 送電技術グループ

(システム情報科学府電気電子工学専攻 2017年3月修士課程修了 工学部電気情報工学科 2015年3月卒業)



電源開発株式会社 (J-POWER) に入社後、電力システム改革に伴い分社化された電源開発送変電ネットワークに出向して、主に送電線の新設・建替工事に伴う、鉄塔の設計、工事の管理を担当しています。自身が設計した鉄塔が完成して形になること、今後50年以上はその地に残り電気を送り続けるという点が魅力です。現在の仕事で学んだ電気学の知識のひとつひとつが役立つだけでなく、国際的な学会に参加する際には大学院で培った英語の論文を読み書きする能力や発表する能力がとても有用です。

川頭 賢吾さん

Anand Devarajan Architecture Inc.

(Texas A&M University : Architecture専攻2019年5月修士課程修了 工学部建築学科2017年3月卒業)



LAを拠点とし、北中米や中国で建築意匠設計を行っており、プロジェクトは個人・集合住宅、バーやワイナリー、美術館のプログラム計画など多岐に渡ります。古代・中世の歴史的建造物やアート作品から受けたインスピレーションを基に、プランニング、建築模型、3Dデジタルモデルを製作します。常に時代に即した技術を設計に活用するべく、AIの建築設計への応用や3Dプリンターを使った模型製作を積極的に行っています。ユニークかつ恒久的に使われる建築の設計を重視しており、デザインが成長を遂げる過程にやりがいを感じます。

高木 聖也さん

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 原子力基礎工学研究センター 燃料高温科学研究グループ

(工学府 エネルギー量子工学専攻 2016年3月博士課程修了 工学部エネルギー科学科 2011年3月中退)



放射性廃棄物減容を目的とした次世代の原子力燃料の製造技術開発、放射線照射による燃料への影響について研究しています。これまで文部科学省の受託研究やメーカーから受託して行う研究開発に参加し、現在は九州大学やフランス原子力庁との共同研究も計画しています。研究開発の内容自体はまだ社会貢献を実感できる段階ではありませんが、人類の課題である放射性廃棄物に係る研究開発に携われていることにやりがいを感じています。

馬崎 夏実さん

川崎重工株式会社

航空宇宙システムカンパニー 航空宇宙技術本部

システム技術総括部 / 機体装備システム技術部 操縦・降着システム技術課

(兼) 動力装備システム技術部 動力システム技術開発課

(工学府機械工学専攻2021年3月修士課程修了 工学部機械航空工学科2019年3月卒業)



ブルーインパルスで知られるT-4中等練習機という自衛隊向けの航空機の維持設計(メンテナンスや改良のための設計)を行い、実際の航空機に触れて航空機の仕組みや基礎知識を学びながら、水素航空機(液体水素を燃料とする航空機)の研究開発を行っています。水素航空機は従来の技術が通用しないことも多いですが、困難な課題に挑戦し乗り越える度に技術者としての成長とやりがいを感じています。水素航空機の実現を通して、地球の未来に貢献していきたいです。



ELEP (イーレップ)

Engineering Leaders English Program



米国カリフォルニア州「サンノゼ州立大学 I-Gateways」で実施される起業家やベンチャーキャピタルの方々の講義およびスタンフォード大学やハイテク企業 (Google・Apple等) へのフィールドトリップに参加する工学系学生向けの1~2週間の短期留学プログラムです。アントレプレナーシップ (起業家精神) の実態に触れ、イノベーションが起こる仕組みをシリコンバレーで学ぶことができます。留学後には九州大学・伊都キャンパスにて仮想起業ワークショップも実施します。

ELEP留学体験談



留学先
サンノゼ州立大学 (アメリカ)
工学部 材料工学科3年
清々嶺高等学校 (熊本県) 出身
緒方 翔平さん

「海外」と「起業」が心にちらつく

ELEPの報告会に参加して感銘を受け、帰ってすぐ親に「留学に行かせてほしい」と電話を掛けました。印象に残っているのは最初に英語で注文した時のこと。自分の英語が他人に伝わり、コミュニケーションが取れるということに感動し、英語を勉強するモチベーションにもなりました。留学体験は私の心の持ち方を変えました。今までは、みんなが修士課程まで行くからなんとなく修士課程まで行って、有名な大企業に就職しようといったものでした。しかし留学後は「海外」と「起業」というものが私の心の中でちらついています。留学体験を経て「いろいろな考え方をしている人がいて知らないことがたくさんある」ということを物事の前提として考えられるようになりました。

Q²PEC (キューベック)

Qshu-Queensland Program for English Communication



オーストラリア、ブリスベンにあるクイーンズランド大学に所属しているUQ-Collegeにおいて世界各国からの留学生に混じって英語研修、ならびにクイーンズランド大学の工学系特別講義や研究室訪問を体験できる5週間の短期プログラムです。実践的な英語力を向上させるとともに、グローバルマインドの涵養や長期間の学位留学に向けたモチベーションアップも目指せます。

Q²PEC留学体験談



留学先
クイーンズランド大学附属語学学校ICTE-UQ (オーストラリア)
工学部 応用化学科
分子生命工学コース4年
ノートルダム清心高等学校 (広島県) 出身
庄垣内 結さん

国際交流への意識がより高まった

工学部だけの短期留学があると知り興味がわきました。最も印象に残ったことはプログラムの1つとして行ったソーラーファームです。雑草などが生えて太陽光の邪魔にならないように、ソーラーファーム内でヤギや羊を多く飼っていることが、ありそうでなかったアイデアとしてとても面白かったです。今回の留学を経て、国際交流への意識がより高まったと感じています。英語だけの生活を、さまざまなバックグラウンドをもつ人と関わることで、もっと英語がうまくなっている人々と関わりたいと感じるようになりました。帰国後は大学内で留学生チューターをするなど、ハードルが下がったことにより英語でのコミュニケーションに対するモチベーションが上がりました。



九州大学工学部の海外留学パンフレット2025

世界で活躍するエンジニアを目指すための留学プログラムやサポート体制、体験談を紹介しています。



学科で実施している留学プログラム等

電気情報工学科	日米大学パートナーシップ UPWARDS for the Future (通称UPWARDS)	UPWARDSは2023年に発足した本学を含む日米11大学によるコンソーシアムで、日米企業の寄付金に基づき、未来の半導体人材の育成等に取り組んでいます。 留学先:アメリカ 対象学年:電気情報工学科、シス情 期間:1-2週間 参加人数:10-20名程度
化学工学科	学術交流イベント	上海大学、ヨナンン大学、チュロンコン大学、九州大学の化学工学会でSKYシンポジウムという学術交流イベントを毎年行っています。
地球資源システム工学科	地球資源システム工学国際インターンシップ (選択授業科目)	留学先:東南アジア・東アジア・オセアニア・中東・北米・アフリカ等の、鉱山・大学・研究機関等 対象学年:3年生 期間:1~2週間 参加人数:受入先毎に若干名
土木工学科	DDP (ダブルディグリープログラム)	国立台湾大学 (National Taiwan University) とのダブルディグリープログラム。 3年間で九大とNTUの修士課程を修了。
建築学科	Campus Asia Program DDP (ダブルディグリープログラム)	留学先:中国 (同済大学)、韓国 (釜山大学) 対象学年:学部生、大学院生 (修士課程、博士課程) 期間:短期プログラムは1週間~2週間、長期プログラムは半年~1年間 参加人数:プログラムによって数名~10名程度
	AUSMIP (Architecture and Urban Student Mobility International Program)	留学先:フランス (パリ・ラビレット建築大学)、ポルトガル (リスボン大学)、ベルギー (ルーヴァン大学)、ドイツ (ミュンヘン工科大学)、ブルガリア (ソフィア建築土木大) 対象学年:大学院生 (修士課程) 期間:9か月間 (10月~翌6月) 参加人数:5名程度
	LSPA (Language for Specific Purposes, Architecture Program)	留学先:アメリカ (テキサスA&M大学) 対象学年:学部生 期間:1か月間 参加人数:数名

CIRCLE 【創造工房】

「創造工房」は、学生が自由な発想・創意・工夫を凝らしてオリジナリティあふれる機械を製作するための施設です。他の大学にはないユニークなワークショップとして、工学部の全面的支援のもとで運営されています。

現在は「PLANET-Q」、「鳥人間チーム」、「ロボコン」、「ヒューマノイド」、「ロボット技術研究会」の5チームが活動しています。各チームの成果は九大祭や年度末の成果発表会などで公開されます。また鳥人間コンテスト、NHKのロボコン、ROBO-ONE、などのコンテストでも多くの実績を残しています。

※令和6年度卒業式にて「鳥人間チーム」、「PLANET-Q」が九州大学課外活動の振興へ寄与した優秀団体として表彰されました。

鳥人間チーム



Webサイト



動画

人力飛行機で飛距離を競う「鳥人間コンテスト」での優勝を狙い、滑空機を製作しています。空力・構造の設計や桁 (スパー) 焼き作業など、40年以上続く伝統の技術と新しいアイデアを融合させながら、日々創意工夫を凝らしつつ活動しています。NC熟練やフライスといった加工機を自在に使いこなし、自らの手で創作した機体のフライトは、製作者にとって生涯忘れ得ぬ経験となるはずで。

- 鳥人間コンテスト2024 第3位
- 鳥人間コンテスト2023 第15位
- 鳥人間コンテスト2022 第9位

ヒューマノイドプロジェクト



Webサイト



動画

二足歩行ロボット格闘競技大会であるROBO-ONEでの優勝を目指して日々活動に取り組んでいます。基本的にロボットの設計・加工・制御を一から行っており、ロボットの構造、設計、回路、プログラミングといった様々な分野の知識を身につけることができるのが特徴です。普段の大学生活では決してできない貴重な体験ができるサークルです。

- 2025年2月 第42回ヒューマノイドカップ Light級準優勝
- 2024年3月 第26回ROBO-ONE Light ベスト8
- 2024年2月 第41回ヒューマノイドカップ Light級優勝、準優勝 ヘビー級優勝

PLANET-Q



Webサイト



動画

「放課後は、宇宙開発を。」をモットーに、宇宙開発に関する技術開発や教育活動を行っています。プロジェクトには安価かつ安全性の高いハイブリッドロケット、成層圏でミッションを行うスペースバルーン、自律制御で走行するCanSat、自由度が高いモデルロケットなどがあり、学年や学部の枠を超え一丸となって活動しています。

- 2025年3月 種子島ロケットコンテストインテリジェント部門 安全賞受賞
- 2025年3月 日本モンゴル共同気球実験 スペースバルーンの放球・回収に成功
- 2024年8月 能代宇宙イベント ハイブリッドロケット1機の打ち上げ一部回収に成功 (三菱重工賞 入賞、Autodesk賞 優秀賞、フotoron賞 入賞、IST賞 入賞)

ロボコンチームKURT



Webサイト



動画

九州大学の有志学生によるロボット競技チームです。メインとなる活動はロボットの制作で、設計から制御まですべて自分たちで行います。例年5月から6月に開催される「NHK学生ロボコン」への出場をはじめ、夏休みには「九州夏ロボコン」を主催しています。秋の「サイエンスワールド」への出展も含め、メンバー一丸でロボットの制作を行っています。

- 2025年 NHK学生ロボコン2025 2次ビデオ審査合格 (6月に本戦出場)
- 2024年 九州夏ロボコン2024 運営及び出場
- 2023年 第13回キャッチロボバトルコンテスト2023 優勝

ロボット技術研究会



Webサイト



動画

特定のテーマに縛られず、自由にものづくりを楽しむサークルです。初心者から経験者まで、誰もが自分のペースで活動できます。大会出場を目指すチームもあれば、仲間と協力して独創的なアイデアの実現に挑戦する人も。個性豊かなメンバーが集まる賑やかな環境で、あなたの「つくりたい」という情熱を形にできます。ものづくりの楽しさがここにあります。

- 2025年6月 NHK番組「魔改造の夜」出場
- 2025年5月 2025年度チャレンジ&クリエイション (C&C) に「録の触覚を用いた匂いセンサの開発プロジェクト」が採択
- 2024年9月 キャッチロボバトルコンテスト 出場 審査員特別賞受賞



ヤシの木ブランコ



Beach Cafe SUNSET



ハイドアウトビーチ(西浦)

人気の糸島エリアは
自然の身近さが嬉しいポイント。



いとLab+



九大伊都蔦屋書店



ITO GRAND



工学部がある九州大学伊都キャンパスは福岡市西区の糸島エリアに位置し、豊かな自然に囲まれた福岡でも有数の注目スポット。野北や二見ヶ浦は昔から海水浴場として知られてきましたが、今ではおしゃれなレストランやカフェが増え、SNS映えするリゾート地区として多くの若者たちが集まります。

伊都キャンパスまでは福岡市中心部の天神から市営地下鉄(姪浜駅からはJR筑肥線)、昭和バスを利用して約45分。JR筑肥線の九大学研都市駅周辺は大型ショッピングモールや有名チェーン店、学生向けのマンションが続々と誕生。キャンパス周辺の街は今なお発展を続けています。



九州大学工学部をもっと知りたい受験生へ

まずは工学部Webサイトへ

工学部Webサイト



- 研究室紹介
- 工学部短期留学プログラム
- 工学部学科紹介
- 工学府専攻紹介

特設サイト

受験生向け情報



- 座談会
- 学生の1日
- 就職データ
- 入試情報
- 学科群紹介
- 創造工房
- キャンパス情報

オープンキャンパス



- オンラインコンテンツ(学科動画等)
- リケジョ講演会アーカイブ配信
- 360度カメラで撮影!施設紹介動画
- 工学部Q&A

あなたにピッタリの学科はどれ?

FIND



- 学科診断
- 興味があるキーワードを選ぶと
オススメの学科を教えてください。



YouTube九大工学部チャンネル➔

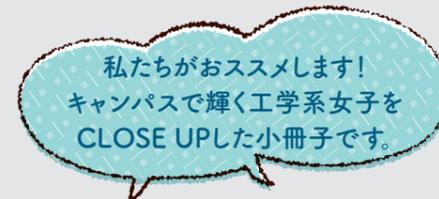


九大工学部Instagram➔



[VOICES of WOMEN in ENGINEERING]

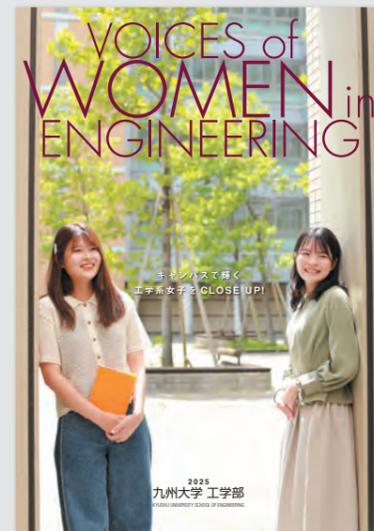
工学系女子を特集した小冊子です。
在学生やOGのインタビュー・女性教員からのメッセージ、1日のスケジュール、伊都キャンパスの紹介などを掲載しています。



大学院工学府
応用化学専攻 修士課程1年
辻 美月さん
筑紫丘高等学校(福岡県)出身



大学院工学府
航空宇宙工学専攻 修士課程1年
河野 結衣さん
雙葉高等学校(福岡県)出身



電子版はこちらから➔



受験に関するお問い合わせ

九州大学工学部等教務課教務係
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地
Tel : 092-802-2723 / 092-802-2724
E-mail : koggakus@jimukyushu-u.ac.jp

Facts and Figures of School of Engineering, Kyushu University

(As of May 1, 2025)

The number of students



The number of students

3,386

The number of female students **417**

The number of University students **11,688**

Number of faculty members



289

Total number of Kyushu University faculty members

2,511



85.7%

enters graduate schools.

Rate of employment

Graduate School of Engineering



97.3%

* Includes international students

Rate of employment

Graduate School of Information Science and Electrical Engineering



93.1%

* Includes international students

Ito Campus site area

FUKUOKA PayPay Dome



× 39.3

FUKUOKA PayPay DOME = 69,130m²

Area of Ito Campus

2,717,130m²

The largest Campus in Japan

Total area (including affiliated facilities)

75.68 million m²



Inbound

Number of international students

129

Number of countries/regions of international students

28



Outbound

Number of students studying abroad

2024

177



九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

九州大学工学部 CAMPUS GUIDE 2025

発行 / 令和7年7月
編集・発行者 / 九州大学工学部



伊都キャンパス

〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL 092-802-2728

筑紫キャンパス

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1